

# 道退教空知

空知支部ニュース (題字 安宅 隆氏)

2016年11月2日 No142

全北海道退職教職員の会空知支部

略称 道退教空知支部

〒068-0045

岩見沢市北5条西十五丁目1-10

吉田逸雄方

Tel・Fax 0,126・25・1459

第22回



親睦旅行 道退教空知支部

三笠市

三笠ジオパーク幌内エリア & 三笠天然温泉「太古の湯」



幌内神社本殿跡



太古の湯 (昼食・交流会)

9月1日(木)晴天の下、石炭最盛期の幌内の歴史探訪と昨年好評だった三笠天然温泉「太古の湯」で昼食交流会を実施しました。

三笠ジオパークの幌内エリア(ジオパークとはジオ:地球・大地とパーク:公園を組み合わせさせた言葉で「大地の公園」を意味します)を市の解説者椛木さんが案内してくれました。幌内炭鉱は北海道開拓・日本の産業発展に多大な貢献を果たしました。参加者11名は、その炭鉱跡地を1時間程元気に気持ちよく汗を流しながら歩きました。崩れかかった大きなコンクリートは草木に覆われ、送電線施設の一部が見える旧幌内炭鉱変電所、榎本武揚も関わりある幌内神社本殿跡、半分ほど坑口が残る旧幌内炭鉱音羽坑、旧幌内炭鉱常磐坑。ガイドさんの詳細な話を聞きながら、参加者から当時の炭鉱での様子・労働組合・学校のことについて話が広がりました。空知は炭鉱で栄えましたが、その陰には落盤・注水等で多くの炭夫が亡くなった悲慘なこともありました。また、朝鮮・中国から強制連行され人々は、過酷な労働のもと食事も2食、治療されず故郷に帰れないまま命を奪われる凄愴な出来事が沢山ありました。学校も炭鉱と強く結びつき炭鉱なくして物事を考えることが出来なかった時代。炭鉱遺跡を見ながらヤマの歴史・生活を思い出しました。

その後、昼食交流会「太古の湯」へ移動。交流会のみ参加者2名。すでに到着している方もいました。13名による「親睦・交流会」。好みの飲み物・デザート等を注文し交流の宴

が始まりました。7月の参議院選挙での活動、毎週の絵画教室の指導の様子・学ぶ楽しさ、合唱指導や早朝テニスで健康を維持、兄弟展の紹介、書道の道を究める方など、さらりと話されるところがまたなんとも言えません。通院している方も多いのに今回は体調の話が少なく、今後参加し易い親睦旅行にする為の方法や要望等も出て会を盛り上げていただきました。

交流会を終え解散しましたが、時間のある方は温泉に浸かりながら語り合い。その後、休憩室でも懇親を深め、日ごろの疲れを癒し「太古の湯」を後にしました。

親睦旅行の予算・決算は以下の通りです

◆ 予算と決算

□ 〈収入〉

項目	予算	決算	増減	備考
参加費	¥35,000	¥32,500	▲¥2,500	13名参加 1名不参加
支部補助	¥10,000	¥10,000		支部会計より
合計	¥45,000	¥42,500	▲¥2,500	

□ 〈支出〉

項目	予算	決算	増減	備考
ガイド料	¥3,000	¥3,000		
弁当代	¥28,000	¥28,000		@¥2,000×14 不参加者1名含む
飲み物代	¥11,200	¥5,530	▲¥5,530	1人 800円補助
つまみ・菓子代	¥2,800	¥2,578	▲ ¥222	
ガソリン代		¥3,000		相乗車補助(深川・滝川)
合計	¥45,000	¥42,108	▲ ¥392	

残金 ¥42,500-¥42,108=¥392 (支部本会計へ)

今号のニュースに署名用紙を同封、取り組みをお願いしています。少しずつではありますが、集約されてきています。現在 60 筆 (南空知ブロック ; 60 筆)。署名用紙を 10,40 枚送ってとの声が上がってきています。まだ、多くの用紙があります。是非、連絡をまっています。1筆1筆の積み上げを。自分の署名1筆だけでも十分です。送って下さい。

空知支部の集約締め切りは11月24日(木)事務局(吉田逸)必着とします。

おそくなりましたが 第20回道退教囲碁交流会 案内

とき 2016年11月11日(金) 午前10時開始～午後4時終了 受付 午前10時まで  
 ところ 札幌市東区民センター(東区北11条東7丁目 TEL 011-742-5500) 3階 講義室  
 かいひ 500円(今回から 副賞および参加賞)

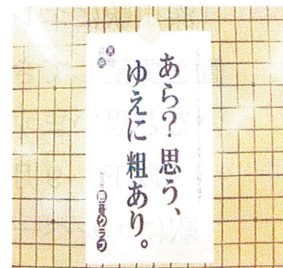
東区民センターへの交通手段等

□ 地下鉄東豊線「東区役所前」下車すぐ □ 乗用車の場合 駐車場あり



- 会場は長机・椅子 □ A・Bの2グループに分け、一人4局対局
- グループの1位には優勝盾と賞状・副賞、2、3位には賞状・副賞。
- 昼食は、東区民センター食堂。(費用は全額道退教が負担)

申込み締め切り 日にちがありませんが 11月5日(土) 期日厳守で  
申込み先 直接 柿崎幸至さんへ Tel 011-520-5601



## 各ブロックの活動・会員の様子

### 笑顔で、楽しく、元気に出来る範囲で。

■南ブロック 11月15日秋の食事会予定。リハビリの毎日。親の介護。デイサービスで健康づくり。運転免許返上。外出が困難になってきている。

下記 手稲山 (吉田逸・撮)

■美唄ブロック 月1回、顔を見に行ったり、手紙を書いたりしている。訪問すると30分ぐらい話が続く。蛇行歩行で、バスを利用。通院の日々。外出は困難。女性3名は元気に地域活動。

■中ブロック 体調を崩し、札幌の病院へ。施設入所。音楽・絵画・書にと元気に活動。

■北ブロック 10月に3人でP・Gその後5人で昼食会。昨年から体調を崩し今後の活動が不安。

■夕張ブロック 皆さん元気で、各種行事に参加しているようです。

会員の皆様からの近況投稿をお待ちしています



## 空知合同教育研究大会

10月2日、奈井江町公民館で開催されました。実行委員会のきめ細かな取り組みや門脇厚司さん(前茨城県美浦村教育長、筑波大名誉教授)の講演「社会力育てが教育と社会を救う」もあって多くの参加者が集まりました。道退教空知支部から9名もの参加がありました。

11月5・6日全道合同教育研究集会

札幌学院大学

## 加藤廣一(前道退教空知支部長)さんの願い

深川市長・JR北海道にとどく

「深川駅にエレベーターを望む会」(加藤廣一会長)は、長年JR深川駅にエレベーター設置を要望してきましたが、ようやく実現することが決まりました。このニュースを既読していると思いますが紹介したく掲載いたします。

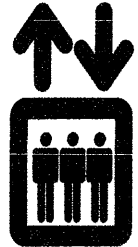
《以下 9月25日付け しんぶん 赤旗より一部抜粋・要約》

駅にエレベーター設置へ

JR深川駅に、市民が熱望していた2基のエレベーター、車椅子で利用できる多機能トイレの設置、2カ所の自動ドア化などが来年11月に実現します。

一昨年9月に結成された「深川駅にエレベーターを望む会」(加藤廣一会長)は、昨年2月までの6ヶ月間で1万を超える署名を集め、3月に深川市長、4月にJR北海道に設置を要望してきました。

加藤廣一会長は「JR北海道が厳しい経営状況ということもあり、実現はむずかしいと思っていた。よくぞやってくれたという気持ちです。市とJRの誠意に感謝したい。」と率直に語りました。・・・深川市身体障害者福祉協会の星野賢会長は「JRが大変な状況にあるときに、こんなに早く設置が決まり驚いている。バスからJRに切り替える人も増え、車いす利用者も気軽に利用でき助かります。」とほっとした様子でした。・・・



## 連絡とお知らせ

今回の同封物 ⇒ 「道退教ニュース ; No. 143」、「ゆきとどいた教育を求める全国署名」用紙  
(親睦旅行等で配布済みの方は、同封されていません。)

「道退教ニュース No.144」「全退教ニュース No.74」

11月に11次隊を南スーダンに派兵し安保法(戦争法)にある駆け付け警護や宿営地共同防護の危険な新任務を与えようとしています。国民の不安は高まる一方。

戦死せる救え見よ

竹本源治

逆いて還らぬ救え見よ  
私の手は血まみれだ!

君を縊ったその綱の  
端を私も持っていた

しかも人の子の師の名において

嗚呼!

「お互いだまされていた」の  
言訳がなんでできよう

懺悔 懺悔 懺悔を重ねても  
それがなんの償いになろう

逆った君はもう還らない

今ぞ私は汚濁の手をすすぎ  
涙をはらって君の墓標に誓う

「繰り返さぬぞ絶対に!」

1953年ウィーンでひらかれた第1回世界教員会議で朗読され、国の違いを越えてみなハンカチで涙をぬぐったという高知県出身・中学校教師、竹本源治さんの作品。